

令和元年7月10日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

令和元年度 第1回 教育文化・環境清流合同部会

◆ 7月10日(水)、美しい多摩川フォーラムの令和元年 第1回 教育文化・環境清流合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：令和元年7月10日(水) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F ベリタ
- ・出席者：副会長、部会長、副部会長、運営委員、会員等

◎ 教育文化・環境清流合同部会の概要

1. 開会
2. 部会長挨拶
3. 講話

テーマ：「花粉の少ない森づくり」の取組

講師：公益財団法人東京都農林水産振興財団花粉の少ない森づくり運動担当
課長 阿部 宏美 様

4. 経過報告

- (1) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業
 - ①第10回“美しき桜心の物語”の語り会(3/30)
(八王子市・大光寺、平野啓子副会長)【資料1】※
 - ②桜ウォーキングと桜守学校(4/5)
(武蔵小金井駅～都立武蔵野公園、リビング多摩)【資料2】
- (2) 多摩川流域自治体交流イベントラリーに協力(5/4～11/3)【資料3】
- (3) 多摩川“水”大学講座(5/17、6/21)【資料4】
- (4) 東急百貨店「ココエコチャリティーキャンペーン」開始(5/23～)【資料5】
- (5) 令和元年度総会(5/25)【資料6】
- (6) 多摩川流域魅力体験事業(多摩川カヌー駅伝大会)第1回実行委員会(5/30)
- (7) 調布市環境フェア出展(6/1)【資料7】
- (8) 第12回多摩川一斉水質調査(6/2)【資料8】※
- (9) 青梅信用金庫より寄付金の贈呈(6/3)
- (10) 美しい多摩川フォーラムの森(青梅)下刈りイベント(7/6 雨天中止)

～以下、当面の予定～

- (1 1) 多摩川っ子 (第 1 2 号) 発行 (7 月上旬) 【資料 9】
- (1 2) 狛江古代カップ第 2 9 回多摩川いかだレースに参加 (7/21) 【資料 1 0】
- (1 3) 多摩川 “水” 大学講座 (7/19、9/20)
- (1 4) 第 1 1 回炭焼き体験と水辺の交流会 (8/21) 【資料 1 1】
- (1 5) 第 6 回 “多摩川酒蔵街道” のキャンペーン開始 (9/1～) 【資料 1 2】
- (1 6) 第 1 2 回多摩川子ども環境シンポジウム募集開始 (9/2～) 【資料 1 3】
- (1 7) 「多摩の物語」の語り会 (9/6) 【資料 1 4】

5. 意見交換

- (1) 令和元年度事業計画について【資料 6】
- (2) その他

6. 部会長総括

7. 閉会

1. 開会 (初参加者紹介および資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム令和元年度第 1 回教育文化・環境清流合同部会を始めさせていただきます。今日も蒸していますので、事務局はクールビズで失礼させていただきます。皆さんも上着を脱いで、リラックスして話をお聞きいただけたらと存じます。なお、事務局長の及川は今こちらに向かっています。その間、わたくし木村が進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

始めに、新しい事務局体制をご紹介させていただきます。6 月 2 5 日の地域経済活性化部会にご出席された方には重複しますが、本年 4 月 1 日付で、美しい多摩川フォーラム事務局担当の黒米に代わって、持田が就任しました。引き続き、野村専務理事、及川事務局長、鈴木と持田、そしてわたくし木村というメンバーで新たなスタートを切りましたので、よろしくお願いいたします。

それでは当フォーラムのテーマソングである「多摩川の歌」の普及策の一環として、本日は混声四部合唱バージョンでお聞き下さい・・・。

次に、初めて部会にご出席される方をご紹介します。

(あきる野市環境経済部農林課長 渡辺 一彦 様)

渡辺と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

(青梅市環境部環境政策課課長 塚田 正巳 様)

塚田と申します。よろしくお願いいたします。

(羽村市産業環境部産業振興課商工観光係係長 増田 康一朗 様)

増田と申します。よろしくお願ひいたします。

(株式会社近畿日本ツーリスト首都圏立川支店次長 山崎 修 様)

山崎と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

(株式会社西の風新聞社 佐々木 彩夏 様)

佐々木と申します。よろしくお願ひいたします。

(事務局)

有り難うございました。はじめに資料の確認ですが・・・(省略)。なお、本日は教育文化部会長の平野副会長は出張のため、欠席となりました。渡邊環境清流部会長に進行をお願いしております。それでは渡邊部会長に開会のご挨拶をよろしくお願ひします。

2. 部会長挨拶

(渡邊部会長)

皆さんこんにちは。本日は、お忙しい中をご出席いただき、有り難うございます。今日の部会では、「花粉の少ない森づくり」の取組に関する講話をいただきます。私も3月から5月にかけては花粉症で毎年悩んでおります。皆さんの中にも花粉症で悩んでいる方がいらっしゃるかと思います。そういった意味で、「花粉の少ない森づくり」の取組には大変期待しております。その他、経過報告や意見交換も予定しておりますので、闊達なご意見をよろしくお願ひいたします。

それでは事務局に進行をお願いします。

3. 講話

(事務局)

及川です。遅参して申し訳ございませんでした。それでは、先般の当部会開催通知でご案内のとおり、本日は、公益財団法人東京都農林水産振興財団花粉の少ない森づくり運動担当課長の阿部宏美様に講師をお願いし、「花粉の少ない森づくり」の取組と題するご講話をいただきます。「花粉の少ない森づくり」の取組について、現状認識や問題意識を高めていただけたら有り難いと存じます。それでは阿部様、よろしくお願ひいたします。

(公益財団法人東京都農林水産振興財団花粉の少ない森づくり運動担当課長 阿部 宏美 様)

皆さんこんにちは。東京都農林水産振興財団花粉の少ない森づくり運動担当課長

の阿部でございます。美しい多摩川フォーラムの皆さまにおかれましては、企業の森を通じて私どもの取組に対してご支援・ご協力をいただき、誠に有り難うございます。この場を借りて御礼を申し上げます。私ども東京都農林水産振興財団は、農業・林業・水産業と幅広い事業を展開しております。

今日は、「花粉の少ない森づくり」の取組と題して、美しい多摩川には欠かせない健全な森の維持の一部を担っている私どもの取組をご紹介させていただきたいと思っております。

●東京の森林・林業の現状と課題

私どもの取組を説明する前に、森林・林業の現状と課題についてご説明させていただきます。東京都の森林面積は、都の総面積の約4割を占めています。東京は都会というイメージが強いと思いますが、これだけの森林面積を有しています。しかしながら、全国ベースで見ますと、総面積が小さいこともあり、下から2番目の森林面積となっています。

森林の役割は、木材等の供給や水源の涵養です。森のダムとも言われますが、水源の涵養については、美しい多摩川を保全するためにも大変重要だと思っております。また、災害の防止や憩いの場、二酸化炭素を吸収することによる地球温暖化防止など、多面的機能を発揮しています。

多摩の森林の6割は、スギ・ヒノキの人工林です。戦後の木材需要に応じて、空いた山にスギ・ヒノキを植えたことにより、人工林が広がりました。その当時植えられたものが50年以上経ち、収穫を迎えている状況で、木材として利用可能な50年生以上の森林が7割を占めています。そんな中の課題として、詳細は後で述べますが、切って使って植えて育てるという森林循環の停滞、花粉症の原因となる花粉の飛散等がございます。

では、なぜこんなにスギ・ヒノキが植えられたのでしょうか。スギ・ヒノキは日本原産の固有種です。特にスギは加工しやすく、真っすぐ伸びます。「真っすぐ」だから「すぎ」と呼ばれたらしいですが、スギ・ヒノキの経済価値が高いということで、国策として盛んに植えられました。

●森林循環（伐採・利用・植栽・保育）の停滞

先ほども申し上げましたが、切って使って植えて育てるという森林循環が停滞しています。その中でも特に伐採が停滞しています。長期的な木材価格の低迷と、人件費の高騰により林業採算性が低下しました。拡大造林でスギ・ヒノキを植えても、戦後の需要に追いつかないとして、輸入材に踏み切りました。それによって価格の破壊が始まり暴落となり、価格が低迷し、林業のなりわいが立ちいかなくなり、伐採が進まず、植栽も進まないで、森林循環が滞ってしまいました。また、伐採が進まないこ

とによる弊害として、人工林の7割を占める50年生以上のスギ・ヒノキ人工林の伐採が停滞することにより、二酸化炭素の吸収能力が低下しています。30年以上経過すると、花粉を最大限に発生するようになるので、50年生以上ですと、最大の花粉を発生し、花粉症の原因になってきます。

●都内スギ花粉症有病率

では花粉の状況はどうなっているのでしょうか。花粉症患者実態調査報告書（平成29年12月）をもとに、都内におけるスギ花粉症有病率を調べたところ、約半数の48.8%（推定値）の方が花粉症に罹患しているということです。では、そのような方たちが、花粉症対策として東京都にどのようなことを望んでいるかということ、1番目に「花粉症の根本的な治療方法の研究を推進する」、そして2番目に「スギ林等の伐採や枝打で花粉を減らす」ということでした。このような背景があり、またこの課題を解決するために、我々は「花粉の少ない森づくり運動」という事業を展開しております。

●取組の目的及び事業の柱

我々は、平成18年から「花粉の少ない森づくり運動」を開始しております。目的は、花粉症の原因となるスギ等の花粉の削減と、林業の振興です。我々は環境部署ではなく、東京都産業労働局の外郭団体ですので、林業振興もテーマの1つとなっています。ちなみに「花粉の少ない森づくり運動」は、東京都がおこなっている森林循環事業の一部です。そして我々の事業の柱は、スギ等の伐採と花粉の少ないスギ等を植えるハード事業と、花粉の少ない森づくり運動（募金活動などソフト事業）となります。このハード事業とソフト事業を両輪とし、目的に向かって動いています。

●森林循環図

続いて、先ほど申し上げた、東京都の森林循環事業について、森林循環図を用いて説明させていただきます。林業に携わる部署ですと、必ずこの森林循環が大きなテーマとなってきますが、伐採→利用→植栽→保育という流れです。伐採し、伐採した木を使い、伐採した跡地に植栽し、植栽後に下刈や枝打、間伐等の保育をおこない、最後に主伐をする、という一連の流れを繰り返すことで、持続可能な林業が成り立ちます。これにより、健全な森林が保全され、二酸化炭素の吸収や災害防止が可能になってきます。私どもの取組は、伐採→利用→植栽→保育の中の利用を除いた伐採・植栽・保育の部分がハード事業となっています。

●スギ等の伐採と少花粉スギ等の植栽の事業内容（ハード事業）

では、我々の事業の柱の1つである、ハード事業の内容について説明します。この

事業は、森林所有者からの事業申込があつてスタートします。申込を受けると、我々のほうで森の境界が明確になっているかどうかや、材木量等の調査・評価をおこない、最終的には森林所有者と購入契約を結びます（契約期間：20年または30年）。この調査・評価にかかる経費の一部は圧縮し、皆さまからの募金や公費をつぎ込み、購入価格にプラスが出るようにしています。しかし中には、経費を圧縮しても、材木としての価値がなく、赤字になる場合もあります。そういった場合は契約を結びません。購入契約を結んだ後、我々のほうで業者に委託し、立木の伐採・搬出をおこないます。これらの木材は市場に出荷し、販売しています。伐採した跡地には、花粉の少ないスギ等を植栽し、下刈・間伐・枝打・見回り・管理をおこないます。契約期間終了後、森は森林所有者へ引き渡されます。

ハード事業について簡単にご説明しましたが、実際には、事業申込から購入契約まで相当の時間を要しています。植栽してから50年が経った森林の場合、所有者自体が様変わりしており、最初は所有者が1人だったのに、相続で複数人になっている場合、契約を結ぶ際にも時間がかかってしまいます。また伐採については、委託をしていますが、作業者の数が大変少ないです。林業が成り立たない時代があつたため、当然のことではありますが、現在、東京都内で我々が委託できる業者は10社しかありません。その業者も伐採できる面積が限られていますし、1ヵ所につき2～3年かけて伐採している状況です。花粉症の方々に大変期待されている事業ではありますが、なかなか進まないのが実情です。

ちなみに、我々が植えている花粉の少ないスギは、一般のスギの100分の1の花粉尘発生量となっています。こういったものにどんどん植え替えていくことで、花粉、さらには花粉症の方を減らしていきたいと考えています。しかし花粉症は東京都だけの問題ではなく、全国的な課題であり、国でも取り組んでおります。全国的に花粉の少ないスギが植えられていますが、これだけ大胆に公費を投入しているのは東京都や首都圏だけではないかと思えます。実は「花粉の少ないスギ」だけではなく、「花粉のないスギ」もあります。しかしまだ苗が普及していない状況です。国のほうでも、花粉の発生を抑制する薬を開発中ですが、まだ市販はされてはいません。

●東京の森林における伐採・搬出の特徴

次に、東京の伐採の特徴について説明させていただきます。なぜ伐採に時間がかかるのかと申しますと、東京の森林は傾斜度が30度以上のところが多く、海外のように大型の機械で伐採・搬出することができません。そのため、索道というケーブルや架線をひいて、切った材木を運ぶというやり方をおこないます。

●多摩の木材（多摩産材）の流通と利用

少し話は変わりますが、多摩の木材の流通と利用について説明します。伐採の現場

で同じ長さに切られた原木は、青梅市にある財団の貯木場に集められます。その後、原木は用途別にA材（良材：建築材）、B材（中質材：合板用）、C材（不良材：チップ用）に選別され、A材のみが日の出町にある原木市場でセリにかけられ、製材屋が購入して製材され、建具に使われます。B材は合板工場に運ばれ、合板として住宅建材等に利用されます。C材はチップ工場に運ばれ、民間パルプに利用されます。

●多摩産材活用事例

多摩地域から切り出された材木は、多摩産材というブランド名で販売されます。活用事例として、東急池上線戸越銀座駅の駅舎、立川市役所の待合室、芦花の丘かたるば保育園（世田谷区）の床材や壁材、そして私ども財団事務所のいす・テーブル・パーティション等に使われています。ぜひ皆さんも、東京都で補助金が出ますので、多摩産材をご利用ください。

●花粉の少ない森づくり運動の事業内容（ソフト事業）

では最後に、我々がおこなっている「花粉の少ない森づくり運動」の事業内容について説明します。以下3つの運動によって成り立っています。

- ①企業の森：企業等による森林整備等の寄付や社員参加の森林ボランティア活動を通じた森づくり（みんなでサポート）
- ②花粉の少ない森づくり募金：都民や企業等からの募金（すぐにサポート）
- ③森づくり支援倶楽部：会員制度による継続的なサポート（ずっとサポート）

①企業の森

企業の森とは、森林所有者が森を提供し、協賛企業から森づくり費用を寄付いただき、我々は寄付金をもとに多摩の森林を花粉の少ない森に誘導し、協賛企業はCSRや社員研修等の活動に“企業の森”を活用する運動のことで、協賛企業・森林所有者・我々財団の3者で10年間の協定を締結します。美しい多摩川フォーラムでは協賛企業として平成22年に協定を締結し、これまで植樹や下刈イベント等で森を活用してきました。2019年5月現在、美しい多摩川フォーラムの森を含め、企業の森は都内で32カ所、面積約75haあります。

②花粉の少ない森づくり募金

募金・寄付の方法として、募金箱や口座振込み、東京マラソンチャリティへの参加、パスモ（電子マネー）の利用、昨年11月に販売を開始したLINEスタンプの購入等があります。

③森づくり支援倶楽部

会員制の組織になっていて、個人会員は3,000円以上、法人会員は50,000円以上を寄付していただくと、1年間支援倶楽部の会員となり、支援していただくことができます。現在400名弱の会員がいらっしゃいます。皆さまにもパンフレットをお配りしましたので、ご興味のある方は、入会をご検討いただければと思います。

私からの説明は以上です。ご清聴、有り難うございました。

(事務局)

有り難うございました。せっかくの機会ですので、ご質問のある方は挙手をお願いします。本日、事務局の野村が講話を楽しみにしておりましたが、どうしても出席できず、阿部様をはじめご出席の皆さまにくれぐれもよろしく伝えるよう申し付けております。

質問等、特にないようでしたら、阿部様に今一度拍手をお願いします。有り難うございました。

4. 経過報告

(事務局)

それでは、経過報告に移ります。今年度の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。それでは、はじめに(1)番の①、(8)番をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

いかがでしたでしょうか。経過報告を続けます。

(1) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業

②桜ウォーキングと桜守学校(4/5)(武蔵小金井駅～都立武蔵野公園、リビング多摩)【資料2】

- ・ 【資料2】をご覧ください。今年もリビング多摩様と連携し、桜守をガイドに迎え、桜のガイド付ウォーキングを実施しました。本件につきまして、当日ガイドをしていただいた、くにたち桜守の大谷様より一言お願いいたします。

(くにたち桜守 大谷 和彦 様)

当日は、お陰様で沢山の方に桜に関心を持っていただくことができました。桜をきっかけに、多摩川や自然等、色々なことを考えてくれると嬉しいなと思います。

(2) 多摩川流域自治体交流イベントラリーに協力 (5/4~11/3) 【資料3】

- ・ 【資料3】をご覧ください。これがイベントラリーの用紙で、中面がスタンプ台紙になっております。皆さん、ぜひお出かけいただき、チャレンジしてみたいかがでしょうか。本件につきまして、狛江市企画財政部政策室企画調整担当主任の池田様より一言お願いします。

(狛江市企画財政部政策室企画調整担当主任 池田 優 様)

今年度も、多摩川流域自治体交流イベントラリーにご協力いただき、有り難うございます。今年度は12自治体が参加しており、各イベントをラリー形式で繋いで、参加者の増加や参加者間の交流を目的として実施しています。すでに小菅村、府中市、多摩市でのイベントが終了し、調布市ではイベント実施中となっています。残りは8イベントとなっておりますので、ぜひ皆さまにもご参加いただければと思います。中でも狛江市の多摩川いかだレースについては、美しい多摩川フォーラムの皆さまにもご参加いただいておりますので、ぜひご観覧いただければと思います。また、8月1~4日に開催される福生七夕まつりも非常に大きいイベントですので、ぜひ足を運んでいただければと思います。

(3) 多摩川“水”大学講座 (5/17、6/21) 【資料4】

- ・ 【資料4】をご覧ください。今年度は府中市様との共催のもと、5月17日に開講しました。8年目となるこの講座ですが、講師には引き続き、小倉副会長にお願いし、この講座を通じて、水環境に関するリーダーの養成を目指します。

(4) 東急百貨店「ココエコチャリティーキャンペーン」開始 (5/23~) 【資料5】

- ・ 【資料5】をご覧ください。5月23日より、東急百貨店の本店をはじめ10店舗において、ココからはじめる身近なエコ「ココエコチャリティー」が開催されており、今年もオリジナル・チャリティーグッズが販売されています。これは、東急百貨店のCSRの一環として企画されたもので、今年で10回目となります。環境活動に積極的に取り組んでいる団体として「美しい多摩川フォーラム」に売上金の一部を寄付し、多摩川流域周辺の環境保全活動に貢献しようというものです。美しい多摩川フォーラムでは、いただいた寄付金を、「多摩川一斉水質調査」などの活動に役立てております。皆さん、ぜひお早めにお買い求めいただき、フォーラムに還元していただければ幸いです。・・・ということですが、今日は事務局で多少ご用意がありますので、1個300円になりますが、お帰りの際にお求めいただけたらと存じます。なお、お預かりした金額は、まとめて東急百貨店にお振込みさせていただきます。

(6) 多摩川流域魅力体験事業（多摩川カヌー駅伝大会）第1回実行委員会（5/30）

- ・ 青梅市、羽村市、福生市、あきる野市、昭島市、八王子市の6市と連携して実施する多摩川カヌー駅伝大会の開催日が11月23日に決定しました。これは、東京都市長会の助成事業で3年目に当たります。今年も青梅から昭島まで約17kmのコースで四つの堰を駅伝の中継地とし、カヌー走者がたすきの代わりにカヌーを引き継ぐカヌー駅伝大会を計画しております。美しい多摩川フォーラムも6市に協力してこの事業を盛り上げ、誘客に努めていきたいと存じます。

(7) 調布市環境フェア出展（6/1）【資料7】

- ・ 【資料7】をご覧ください。美しい多摩川フォーラムでは、第47回調布市環境フェアに出展し、多摩川一斉水質調査などの環境への取り組みを、調布市の皆さんに大いにPRしました。

(8) 第12回多摩川一斉水質調査（6/2）【資料8】

- ・ 【資料8】をご覧ください。多摩川フォーラムが直接担当した調査地点のCODの調査結果を速報としてお届けするものです。今回は上流の山梨県丹波山村から最下流の河口の0キロポストまで、多摩川水系の流域52地点の調査を実施し、山崎運営委員には多摩川下流域6カ所の採水、渡邊環境清流部会長には多摩川上流域2カ所の採水および52カ所の調査にご協力をいただきました。今回の調査は、CODに加え、水中の無機イオンの総量を示す電気伝導率や生活排水に多く含まれている硝酸態窒素、亜硝酸態窒素、リン酸態リンを、専門の計測器等を使って測定しました。なお、詳細なCOD調査結果レポートは、例年どおり11月に発行する予定です。本件につきまして、渡邊環境清流部会長に簡単にご説明をお願いします。

（渡邊環境清流部会長）

今年で第12回となりました。昨年まで採水地点は75カ所で、参加者は約100名でした。今年は採水地点が52カ所で、延べ1,200の方が水質調査のために多摩川に足を運んだこととなります。

今年度の水質調査結果をグラフ化しましたので、簡単に説明します。まず、多摩川本川のCODですが、上流から34番（JR八高線橋下）まではきれいであると言えます。35番（多摩大橋下）になると、多摩川上流水再生センターの下流に位置し、下水処理水が入ってくるので、多少有機物が入ってくるという事がわかります。42、46、47番は値がゼロになっていますが、採水の問題や測定の問題があるのではないかと思います。今後の検討課題にしたいと思います。

次に、多摩川本川の電気伝導率です。水のプラスイオンとマイナスイオンの総量を

表すものですが、こちらも35番で下水処理水が入ってくると、電気伝導率が40～50になります。電気伝導率が50を超えると海水が入ってくることがわかります。

次の硝酸態窒素ですが、やはり35番以降は値が高くなっています。下水処理水が入ると窒素やリンが入ってくるということです。

次の亜硝酸態窒素は、今年度はじめて測定しました。亜硝酸態窒素は、色々な有機物が酸化して硝酸態窒素になる前のものです。ですから、水の中の酸素が少ないと亜硝酸が出てくるという事だと思います。やはり35番になると値が高くなります。亜硝酸は魚に対して大変有害ですので、できれば無いほうが良いです。

次のリン酸態リンも、下流に行くと値が高くなっています。毎年同じような傾向にあります。下水処理水をさらに高度処理水にして有機物を少なくすれば良いのですが、莫大な費用がかかるので、当面はこういう状況が続くのではないかと思います。支川のグラフについては、後ほどご覧ください。

(9) 青梅信用金庫より寄付金の贈呈 (6/3)

- ・ 青梅信用金庫では、平成28年2月から4月にかけて「多摩川夢の桜街道応援定期積金」を販売し、募集総額10億円の0.01%に当たる10万円の寄付金を4年間に亘りいただくことになりましたが、6月3日に、最終4年目の寄付金として10万円の寄付金の贈呈を受けましたので、ご報告させていただきます。有り難うございました。

(10) 美しい多摩川フォーラムの森（青梅）下刈りイベント (7/6 雨天中止)

- ・ このイベントは、開催日数日前から断続的な雨により、下刈り会場のコンディション不良のため、安全面を考慮し、中止と致しました。

～以下、当面の予定～

(11) 多摩川っ子（第12号）発行（7月上旬）【資料9】

- ・ 【資料9】をご覧ください。今回で第12号になりますが、本日発行予定です。夏休み前に多摩川流域の小・中学校をはじめ、教育関係者に配布し、子どもたちにご案内する予定です。

(12) 狛江古代カップ第29回多摩川いかだレースに参加 (7/21) 【資料10】

- ・ 【資料10】をご覧ください。今年も「美しい多摩川フォーラム号」として出艇します。美しい多摩川フォーラム号には、狛江市副市長をはじめ、ダニエル・カール副会長、平岡副会長ほか、柔道家でオリンピック女子メダリストの田辺陽子さんが乗り込み、第1レースに出艇します。皆さん、ぜひ会場に足を運んで、応

援をよろしく申し上げます。

(14) 第11回炭焼き体験と水辺の交流会 (8/21)【資料11】

- ・ 【資料11】をご覧ください。今年も、奥多摩漁業協同組合のご協力のもと、青梅市、おうめ水辺の楽校運営協議会と共催します。竹による炭焼き体験と水辺の安全学習を実践する、親子参加型の交流会を予定しております。なお、7月16日より受付を開始いたします。

(15) 第6回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーン開始 (9/1～)【資料12】

- ・ 【資料12】をご覧ください。昨年で第5回となるキャンペーンを実施し、運動が定着しつつありますが、この運動をさらに盛り上げていくため、今回よりスタンプラリーを導入する計画をしております。本年1月より、スタンプラリーの具体的な内容について小澤酒造株式会社会長の小澤運営委員にご相談し、具体的な内容がようやく固まってまいりました。なお、今年の秋も、チラシをリニューアルして、JR東日本八王子支社様と連携し、管轄の駅にチラシを置いていただく方向で準備を進めております。また、大多摩観光連盟様が発行しているPR誌「大多摩四季報」の秋号にも掲載いただけるよう、準備を進めております。今年も、はとバスさんや各旅行会社さんにツアーを組んでいただけるように取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

(16) 第12回多摩川子ども環境シンポジウム募集開始 (9/2～)【資料13】

- ・ 【資料13】をご覧ください。本年3月に実行委員会を開催し、子ども環境シンポジウムについて内容の一部見直しをおこない、憲章や要領を制定しました。また、これまで簡素であった募集チラシの内容も見直し、開催内容をできるだけ丁寧に記載するように改めました。なお、10周年を機に中止していた子どもたちの発表内容を纏めた冊子「みんなの発表誌」を復活させ、「多摩川っ子」を「みんなの発表誌」に吸収させる方向で進めております。本件は100年プランの変更に当たるため、11月の運営委員会に協議事項として上程する予定です。

(17) 「多摩の物語」の語り会 (9/6)【資料14】

- ・ 【資料14】をご覧ください。今年京王線府中駅前の会場において、「多摩の物語」の語り会を開催します。府中市様のご後援をいただき、8月11日の市報に募集記事を掲載いただく方向で進めております。また、京王電鉄様の全面的なご協力のもと、府中市内の駅にチラシおよびポスターの掲出をいただく予定です。なお、チラシは未定稿です。
経過報告は以上です。渡邊部会長、よろしく申し上げます。

(渡邊部会長)

事務局からの経過報告で、他にご質問などございますか。・・・。

ないようですので、意見交換に進めます。はじめに事務局から説明をお願いします。

5. 意見交換 (部会長)

(1) 令和元年度事業計画について【資料6】

(事務局)

【資料6】1ページ目の令和元年度事業計画・同予算をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入は1,900,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、同じく青梅信用金庫様より「多摩川夢の桜街道応援定期積金」販売に伴う寄付金として100,000円、委託金として青梅市様より250,000円を予定しており、前期繰越金4,094,971円と合わせて合計では14,344,971円となります。

一方、支出の部ですが、総会等運営費として3,400,000円、各事業報告として纏めたビデオレター制作費につきましては、引き続き、撮影から編集まで完全内製化し、経費削減に努める計画です。また、各種活動費として8,086,000円を計上しております。なお、10周年記念事業の一つとして実施している「多摩川夢の桜街道」の札所見直しに伴う「多摩川夢の桜街道」公式ホームページ改訂については、当初の計画どおり令和元年度予算に計上しております。多摩川一斉水質調査・項目拡充とありますが、川の魚に有害とされる亜硝酸態窒素の調査を安定的に実施するため、計測器、試薬、備品を購入し実施する計画です。その結果、次期繰越金見込額は2,858,971円となり、合計では14,344,971円となります。

2ページ目は、令和元年度事業計画の主な実施内容になります。経済、環境、教育文化、総合軸に主な事業を区分しております。ご覧のとおり、継続事業が中心となりますが、先ほどご説明させていただいたとおり、「多摩川酒蔵街道」への新たなスタンプラリー導入や、多摩川一斉水質調査の充実など、進化発展させる取り組みとなっております。3ページ目の令和元年度主な活動予定をご覧ください。11月の第11回美しい多摩川クリーンキャンペーンですが、今年度は青梅市御岳会場を中止することと致しました。理由として、年々ごみが減少し、ごみ袋がごみになる傾向が強まっていること、御岳会場に参加された団体に個別にヒアリングをおこない、仮に御岳会場が中止となっても他の会場で参加したいという意思表示をいただいたことから、中止の影響はないとの結論に至り、最終的には青梅市様に相談し決定したところです。なお、多摩市会場は11月2日、川崎市会場は11月9日に開催する方向で調整中です。4ページ目は令和元年度・会議の予定になります。以上で説明を終わりますが、今年度の事業活動がいよいよ本格的に始まります。ご質問やご意見等ございましたらお願いします。

(渡邊部会長)

事務局からの説明について、ご質問やご意見がございましたら挙手をお願いします。

(事務局)

ご参考までに、前回の地域経済活性化部会が出た意見をご報告させていただきます。美しい多摩川クリーンキャンペーンの御岳会場中止については、堤副部会長から「ゴミがなくなって中止になるのは非常に良い形ではないか。」とお話をいただきました。また、ある会員から「本年度は無理でも、来年度以降に釣り事業をおこなったらどうか。」という提案がありました。

(渡邊部会長)

有り難うございます。他にご意見はございませんか。

(事務局)

事務局から1点報告がございます。4月20日に美しい多摩川フォーラム・御岳の森において開催した懇親会は、細野会長より前日夕方に体調不良のため参加できないと、本当に残念そうに連絡がありましたが、当日はフォーラム役員有志20名が集まりました。平岡副会長が目の中の多摩川で釣ってきた魚を皆で焼いて食べたり、青梅産クラフトビールや西多摩5蔵の酒を揃えたり、地元の野菜や青梅豚、ジビエ等、とにかく地元の食材に拘って準備した甲斐があって、大変好評のうちに終了しました。約半数の方は酔っぱらってよく覚えていないとのことでしたが、「とにかく楽しかった」とのご感想をいただきました。

この企画は、現状では年に1回しか活用されていない「御岳の森」の有効活用を検討するに当たり、役員の皆様にまずは施設（炭焼き窯とログハウス）を実際に見ていただき、所属する会社や団体の親睦会等で使用していただきたいということで懇親会を実施しましたが、懇親会以降に「今後ぜひ利用したい」といったご意見が事務局に複数寄せられております。また、既に羽村市さんが8月8日に奥多摩フィッシングセンターと「御岳の森」を活用して、八丈島との青少年交流事業として釣り事業を実施することが決まっております。先ほども申し上げましたが、前回の地域経済活性化部会で来年度以降に「釣り」の事業化という話題が上がりましたので、事務局では、羽村市さんの事業を当日会場で勉強させていただき、来年度以降、多摩川フォーラムとして「釣り」を事業化するにあたり、具体的なイメージを高めていきたいと存じます。なお、事業化する場合には、11月もしくは1月の運営委員会で上程したいと考えております。この釣り事業について、皆さんからご意見をいただければ有り難く存じます。

(渡邊部会長)

それでは、つり事業について、ご意見等ありましたらお願いします。ないようでしたら、全体を通してご意見等あればお願いします。

(事務局)

本日まで出席いただきました東京市町村自治調査会の永尾様、会議全体を含めまして、ご感想等一言いただければ有り難く存じます。

((公財) 東京市町村自治調査会総務部長兼調査部長 永尾 昌文 様)

普段は運営委員会に出席しており、部会にはなかなか参加できておりませんでした。本日出席して、部会は個別の事業を細かくご説明いただけるので、参考になるなと思って聞いておりました。今日は教育文化・環境清流合同部会ですので、つり事業を教育的、環境的な観点から見た場合を考えてみましたが、小中学校の教育関係者がメンバーにいれば良いのではないかと思います。

(事務局)

いつも参考になるご意見をいただき、有り難うございます。

(渡邊部会長)

私の希望ですが、12月に「多摩川子ども環境シンポジウム」を予定しています。ぜひ多くのお子さんに参加していただけるように、皆さんのほうから声をかけていただければ有り難いと思います。今日は行政からもご出席いただいていますので、ぜひ学校に声をかけて、多くの子どもたちに参加してもらい、盛り上げていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

6. 総括・閉会 (渡邊部会長)

(渡邊部会長)

本日は、長時間にわたり第1回教育文化・環境清流合同部会にご参加いただき、有り難うございました。今日は、「花粉の少ない森づくり」に関する講話がございました。多摩地区には森林が沢山あるので、この運動が活性化すれば良いなと思って話を聞いておりましたが、なかなか難しい問題もあるようです。時間をかけて、多摩地区の森林が上手く循環して、経済的にも環境的にも有効な森にしていければという希望を持っております。今後は森林税を取られるという話もありますので、それを利用し、日本全体の資源が活性化され、進んでいければ良いのではないかと思います。来年の東京オリンピック会場となる国立競技場は、多摩産材を含め、国産材が沢山使われているそうです。日本全体として木材をどう生かしていくのかという観点からもオリ

ピックを見ていただければ有り難いと思います。

次回は10月以降の三部会合同部会となりますが、またご参集いただき、ご意見をいただければ幸いです。本日は有り難うございました。

以 上